

事業概要シート

担当部名	環境農政部	事業名 (子事業名)	農業水利施設改修事業費
担当課名	農業政策課	根拠法令・例 規・要綱・計 画等	土地改良法 厚木市都市農業振興計画
担当係名	農林土木係	事業概要	
目的	厚木市都市農業振興計画の将来都市像「持続可能な都市農業の振興」の実現に向けて、農道や農業用排水路、取水堰など農業水利施設の整備・改修を行うことで、通行等の利便性の向上や大型機械の導入、農業用水の管理が容易となり、労力の省力化が図られるなど、農作業の効率化や生産性の向上を目的としています。		
対象	農業経営者及び一般市民		
事業詳細 (実施内容・ 実施手法等)	<p>1 農業用排水路及び取水堰の現状 厚木市内には、農業用排水路は総延長が約42km、取水堰は52箇所が整備されています。これらの農業水利施設の多くは、整備されてから30～40年以上が経過しており、改修や補修が必要とされています。</p> <p>2 改修計画 いずれの農業水利施設も、改修や補修を計画的に進めるために予め年次計画を策定し、計画に基づき改修工事を実施しています。 なお、改修や補修を実施する箇所については、農業経営者等からの要望を踏まえ、事業の投資効果や緊急性を考慮し、年次計画に位置付ける実施箇所の優先順位を決定しています。</p>		
事業の効果	農業用排水路や取水堰の改修や補修を行うことで、農耕に欠かせない農業用水の安定供給が可能となり、良好な稲作環境の確保、作業の省力化、農業生産性の向上といった効果が期待できます。		
事業周知方法 ・内容	<p>1 現地の測量や立ち合い、事業説明会において工事内容を関係する地権者に説明します。</p> <p>2 工事施工時には、関係する地権者へ工事実施の通知文を郵送するほか、周辺住民に対して自治会の回覧板により周知します。また、工事現場には、施工内容を明示した工事看板を設置します。</p>		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）

【農業水利施設とは】

- 1 農業用排水路・・・農地に必要な水を供給（用水）し、速やかに排除（排水）する施設。
- 2 取水堰・・・・・・・・用水路に水を取り入れるために、川などに横切って設ける堰などの施設。



【農業用排水路】



【取水堰】

【課題】

現状の農業用排水路や取水堰は老朽化により破損や劣化が進行し、機能が低下しており、漏水等により農業用水の安定した確保ができず、耕作（稲作）に支障をきたしています。

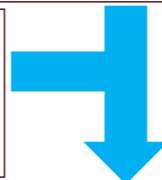
【都市農業振興計画に位置付ける施策の方向性】

8 基盤整備の促進

生産性の向上や農地集積の促進のため、地域合意の下、中心となる農業者や生産振興する作物等を見据えた農地等の整備を促進します。さらに、地域の立地条件に適した基幹作物の産地化を推進するため、環境との調和に配慮しながら、引き続き農道及び用排水路等の整備を推進します。

【具体的な取組】

- 1 農業用排水路や取水堰の整備・改修・補修を行います。
- 2 整備・改修に当たっては、農業経営者等の要望を踏まえ、投資効果や緊急性等を考慮し、年次計画を策定し実施しています。



良好な稲作環境の確保、農業生産性の向上

成果指標	指標名	要望処理件数				農業水利施設の整備実績							
	指標の説明	農業水利施設（農業用排水路及び取水堰等）の整備・改修の要望への対応件数。				過去3年間における農業水利施設（農業用排水路及び取水堰等）の整備実績。							
		単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	要望件数	件	272	279	284	284	用排水路整備延長	83.3	m	179.8	m	566.7	m
	対応件数		233	234	235		取水堰整備箇所	2.0	箇所	1.0	箇所	2.0	箇所
対応率	85.7%		83.9%	82.7%		補修箇所	1.0	式	1.0	式	1.0	式	
指標備考					-								

事業のコスト

コスト	単位	千円	平成29年度（決算）	平成30年度（決算見込み）	令和元年度（予算）					
	事業費		40,262	136,035	183,243					
	人件費		17,220	17,302						
経費総額		57,482	153,337							
人件費内訳	平成29年度人件費内訳（単位：千円）				平成30年度人件費内訳（単位：千円）					
	行政職1	@ 8,610 × 2.00人	=	17,220	行政職1	@ 8,651 × 2.00人	=	17,302		
	行政職2	@ 8,472 ×	人	=	0	行政職2	@ 8,726 ×	人	=	0
	消防職	@ 8,719 ×	人	=	0	消防職	@ 8,719 ×	人	=	0
	再任用	@ 3,716 ×	人	=	0	再任用	@ 3,304 ×	人	=	0
	臨時職員	@ 1,197 ×	人	=	0	臨時職員	@ 1,110 ×	人	=	0
	その他	×	人	=	0	その他	×	人	=	0
事業費及び 財源内訳 (千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他				
	H29（決算）	40,262	6,002	11,060	23,200					
	H30（決算見込み）	136,035	18,545	52,990	64,500					
	R01（予算）	183,243	20,243	66,500	96,500					
事業費内訳	【令和元年度の事業の内訳】									
	1 委託料									
	<p>(1) (仮称)愛甲宮前堰測量委託 2,500,000円 堰改修</p> <p>(2) 農業水利施設機能診断業務委託 10,000,000円 取水堰</p> <p>(3) 温水浅間山かんがい排水路測量委託 10,000,000円 用排水路 ほか</p>									
①市民要望 ②社会的要請 ③課題	2 工事請負費									
	<p>(1) 温水圧送管整備工事 75,000,000円 パイプライン整備</p> <p>(2) 酒井下反町排水路災害対策工事 68,000,000円 排水路整備 ほか</p>									
	<p>①生産組合や水利組合などの関係団体からの計画的な農業水利施設の整備・改修の要望を始め、個々の農業経営者からの施設の水漏れや詰まりなど応急的な対応など幅広い要望を受理しています。</p> <p>②農林水産省では、土地改良長期計画などに基づき、地方自治体の厳しい財政状況を踏まえ、農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進するよう要請しています。</p> <p>③近年、改修工事等に係る人件費及び資材費等の上昇が著しく、事業費が増加傾向にあります。このことから、工事を実施できる箇所も限られてきており、要望に対する対応が従前と比較して長期化しております。また、農業用排水路及び取水堰などの農業水利施設は、昭和40年代前後に整備された施設が多く、整備から30～40年以上が経過していることから、今後、更新時期が集中することが見込まれており、早期に対応策を検討する必要があります。</p>									
上記課題等への 対応や見直しの 方向性	耐用年数を迎える農業水利施設を計画的に改修・保全するために、各施設の老朽化のリスクを適切に評価し、長寿命化や予防保全を始めとしたストックマネジメントの取組を計画的に行ってまいります。また、農業水利施設は、様々な施設からなる複合施設であり、箇所ごとの劣化状態も異なることから、個々の施設の劣化状態に応じた適切な対応策を検討します。									
直近3か年以内 の事業見直しの 有無と内容	見直しの有無	無								
近隣自治体等 の状況	年次計画に基づき、計画的な農業水利施設の改修工事を行っていることから見直しは行っていません。									
	農業水利施設を所有・管理している各自治体においても、それぞれの実情に即した計画的な維持管理を行っています。									